

事業所における自己評価表(公表)

公表：令和4年4月1日

事業所名 八街市立つくし園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、改善内容・改善目標
環境・体制整備	①	利用者定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	4	1	・コロナ対策で密にならないよう、5組以上の場合はホールを使用して対応している。 ・ホール等は、遊具を片付けて療育ができるようにはしているが、部屋数が足りない。
	②	職員の配置数は適切であるか	5		
	③	生活空間は本人にわかりやすい環境になっているか。また、情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		・生活空間はわかりやすい環境を心がけている。情報伝達も、個々の状況に合わせて、全員に周知できるよう、口頭・文章・電話で行っている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。子ども達の活動に合わせた空間になっているか	5		・活動内容に応じて、必要な物のみ準備し、配置するようにしている。 ・ホールの遊具を片付け、療育の部屋として利用している。
業務改善	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	5		・できる範囲で業務改善に繋げていると思う。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事務所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	・改善内容を会報やホームページ等で公開までには至っていない。
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	・コロナ禍のため、あまりできていない状況である。療育に生かせそうな内容のものがあれば、オンラインで参加していきたい。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	5		・定期的にモニタリングを実施し、保護者とアセスメントを行い、一緒に考え、提案し、作成している。 ・モニタリング以外でも、必要に応じて面談の機会を設け、保護者のニーズに沿いながら計画を立てている。
	⑨	個別支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		
	⑩	個別支援計画に沿った支援が行われているか	5		・支援内容も個々に違うが、個々に沿わせての支援に努めている。 ・利用児の成長について、保護者と確認をして共有しながら支援するようにしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	5		・利用するメンバーに合わせて、活動の内容を考え、工夫するようにしている。 ・固定化しないよう、週ごとに療育テーマを変えている。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	4		どちらも言えない 1 ・個別活動とすると難しいが、集団活動内で支援できるよう、計画を作成している。 ・保護者のニーズに沿うように、必要に応じて個別指導を提案している。
	⑭	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		・「どんなことをするのか」「どんなことを目的・ねらいとしているのか」を職員間で話したり打ち合わせを心がけている。 ・職員間の話し合いは、その都度行うようにしている。

適切な支援の提供	⑮	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 内容について、どうだったか？と子どものことも含めて、職員間で話している。課題や気づきを共有している。 打ち合わせ、振り返りについては日々行い、情報共有している。
	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 療育日誌、個人記録を毎回とり、支援の検証、改善に繋げている。
	⑰	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> モニタリングは年2回行っている。
関係機関や保護者との連携	⑱	健康増進課・子育て支援課等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の保健師とのケース会議の他、必要に応じて電話で連絡を取り合ったり、連携を図っている。 連携した支援を行うことは、難しい状況がある。
	⑲	移行支援として、保育園や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	2	<ul style="list-style-type: none"> どちらも言えない 1 コロナ禍で併用先に行くことはできなかったが、保護者と併用先が個別面談等実施した際は、どんなことが出ていたのか情報共有をしようとしている。 コロナ禍ということもあり、積極的な情報共有は行われていない。
	⑳	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校入学の子どもに関しては、文書及び電話等で情報共有・相互理解を図っている。 学校教育課とも連携をとり、情報共有を図ることができている。
	㉑	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	<ul style="list-style-type: none"> 専門職からのアドバイスや、保護者を通して、子どもが通院している専門機関からのアドバイスを受けている。 コロナ禍のため、連携や研修はできていない。 市内にいくつかの事業所があるが、連携を図るには至っていない。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		
	㉓	(自立支援)協議会の子ども部会や子育て会議等へ積極的に参加しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 園長が参加し、得た情報は共有できている。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラムの支援を行っているか	1	4	<ul style="list-style-type: none"> プログラムを組んでの家族支援は実施していないが、個別支援計画内や口頭等での支援を行っている。
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか	5		
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	5		
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 面談時間を設けたりして、必要に応じて助言・支援を行っている。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> できるだけ早いうちに、面談の機会を設けている。
	㉙	定期的におたより等を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 定期的ではないが、文章・電話・かみくだいての説明等、必要に応じて情報を子どもや保護者に対して発信している。 年間予定表や、その都度お知らせ文等で発信している。

	③⑩	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	5		・大切な書類は、事務室から出さないようにしている。
	③⑪	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		・絵カードや文字を使っている。保護者に対しても、わかりやすく文章や図解している。
非常時等の対応	③⑫	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5		・年度初めにマニュアル等を作成し、定期的に訓練を実施している。
	③⑬	災害発生や感染症拡大時等に、通常の療育が困難な場合を想定したプログラムや支援体制の変更等を職員間で話し合い周知し、保護者への対応を丁寧に行っているか	5		・療育体制の変更が必要と考えられる際には、職員間で話し合い、保護者へも電話等で速やかに連絡を取るようになっている。
	③⑭	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		・年7回、様々な災害を想定して実施している。
	③⑮	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5		・看護師が主となり、確認を行っている。
	③⑯	ヒヤリハット事例集を作成して事務所内で共有しているか	1	3	どちらとも言えない 1 ・ヒヤリハット事例集はあるが、母子通園ということもあり、記録を要する事例はあがっていない。安全面について、日々確認や情報共有はしている。小さな事でも気づきがあった場合には、文書にして安全管理の改善に繋げていきたい。
	③⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会(園内研修も含む)を確保する等、適切な対応をしているか。身体拘束等の適正化について取り組んでいるか	5		・今年度は、虐待の防止等のための責任者及び虐待防止委員会を設置するとともに、県の研修を受講したり、伝達研修・園内研修を実施した。職員間で、例をあげて話すことも多くなった。今後は、チェックリストやマニュアル作り等を実施していく。

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。